

[No. 27] スチール・ベルト式無段変速機 (CVT) に関する記述として、適切なものは次のうちどれか。

- (1) 運転条件に応じたライン・プレッシャを、プライマリ・プーリの油圧室にかけ、スチール・ベルトの動力伝達に必要なベルト張力を制御している。
- (2) デューティ・ソレノイド・バルブは、AT・ECUからの信号により、OFFのときはフォワード・クラッチ、リバース・ブレーキ側へ、ONのときはトルク・コンバータのロックアップ・クラッチ側に油圧を切り替えている。
- (3) 前進・後退の切り替えは、トルク・コンバータとプライマリ・プーリの間に遊星歯車及び湿式多板装置を設け、この湿式多板装置を作動（締結，解放）させることで行っている。
- (4) セカンダリ・プーリ及びプライマリ・プーリの固定シーブは、スチール・ベルトに対して、ともにトルク・コンバータ側に配置されている。

答 (3)

- (1) ベルト張力の制御は、セカンダリ・プーリである。
- (2) デューティ・ソレノイド・バルブはスリップ・コントロール・バルブを制御してフォワード・クラッチ、リバース・ブレーキとロックアップ・クラッチの締結，開放を行う。
- (4) 固定シーブは対向配置されている。よって、可動シーブが移動したときにもベルトの中心線がほぼ一直線を保って平行移動出来る。